

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成28年4月7日(2016.4.7)

【公表番号】特表2015-513186(P2015-513186A)

【公表日】平成27年4月30日(2015.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2015-029

【出願番号】特願2014-560121(P2014-560121)

【国際特許分類】

H 01 H 13/702 (2006.01)

G 06 F 3/02 (2006.01)

【F I】

| | | |
|--------|--------|---------|
| H 01 H | 13/702 | |
| G 06 F | 3/02 | E |
| G 06 F | 3/02 | 3 1 0 A |

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月15日(2016.2.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

感圧キーあって、当該感圧キーは：

1つ以上の導体部を有するセンサ基板と；

該センサ基板から離間して配置され、且つ入力を開始するべく、屈曲させて前記センサ基板に接触させるように構成された可撓性コンタクト層と；

前記センサ基板とは反対側の前記可撓性コンタクト層の近くに配置された力コンセントレータ層あって、該力コンセントレータ層は、その上に配置されたパッドを有しており、該パッドは、前記パッドを介して導かれるような前記力コンセントレータ層に加えられる圧力によって、前記可撓性コンタクト層を広げて前記センサ基板に接触させて、入力を開始し、前記圧力が前記力コンセントレータ層に加えられた接触部の曲げ半径から前記可撓性コンタクト層の変形曲げ半径の増大を生じさせるように構成された、力コンセントレータ層と；を有する、

感圧キー。

【請求項2】

前記可撓性コンタクト層は、力感知インクを含む、

請求項1に記載の感圧キー。

【請求項3】

前記圧力は、オフセンターされた打キーを介して前記力コンセントレータ層に加えられており、前記力コンセントレータ層は、入力を開始するべく、圧力を導くように構成されている、

請求項1に記載の感圧キー。

【請求項4】

前記力コンセントレータ層は、メカニカルフィルタとして作用するように構成されており、閾値量を下回る圧力量では、前記可撓性コンタクト層を前記センサ基板に入力を開始させるのに十分な量で接触させるのに、十分な圧力量が導かれない、

請求項1に記載の感圧キー。

【請求項 5】

前記力コンセントレータ層の閾値は、静止状態の指からもたらされる圧力が前記閾値を下回り、打キーからもたらされる圧力が前記閾値を上回るように構成される、

請求項 4 に記載の感圧キー。

【請求項 6】

前記力コンセントレータ層の閾値は、約 50 グラムで構成されている、

請求項 4 に記載の感圧キー。

【請求項 7】

前記パッドは、前記可撓性コンタクト層に接触するように構成された、表面を有する前記力コンセントレータ層の基板に関して隆起部を形成する、

請求項 1 に記載の感圧キー。

【請求項 8】

前記表面の領域は、可撓性コンタクト層をセンサ基板から離間させて配置するように構成されたスペーサ層によって規定された領域よりも小さい、

請求項 7 に記載の感圧キー。

【請求項 9】

システムであって、当該システムは：

1 つ以上の導体部を有するセンサ基板と；

前記センサ基板から離間して配置され、且つ入力を開始するべく、屈曲させて前記センサ基板に接触させるように構成された可撓性コンタクト層と；

前記センサ基板とは反対側の前記可撓性コンタクト層の近くに配置された可撓性力コンセントレータ層であって、該可撓性力コンセントレータ層は、メカニカルフィルタとして作用するように構成されており、閾値量を下回る圧力量では、前記可撓性コンタクト層を前記可撓性力コンセントレータ層に入力を開始させるのに十分な量で接触させるのに、十分な圧力量が導かれず、静止状態の指からもたらされる圧力が前記閾値を下回り、打キーからもたらされる圧力が前記閾値を上回る、力コンセントレータ層と；を有する、

システム。

【請求項 10】

成形された複数の感圧キーを有するキーボードであって、当該キーボードは：

複数の導体部を有するセンサ基板と；

該センサ基板から離間して配置され、且つそれぞれのキー入力を開始するべく、屈曲させて前記センサ基板に接触させるように構成された可撓性コンタクト層と；

前記センサ基板とは反対側の前記可撓性コンタクト層の近くに配置された力コンセントレータ層であって、該力コンセントレータ層は：

その上に配置されたパッドを含む第 1 の側であって、第 1 の側は、前記パッドを介して導かれるような力コンセントレータ層に加えられる圧力に応じて、前記可撓性コンタクト層に接触され、それによって、加えられた圧力を受け取る接触領域よりも大きな接触領域でそれぞれのキー入力を開始するべく、前記可撓性コンタクト層を前記センサ基板に接触させるように構成されている、第 1 の側と；

実質的に滑らかな第 2 の側と；を含んでいる、力コンセントレータ層と；

前記力コンセントレータ層の第 2 の側の上に配置された表地であって、該表地は、それぞれのキー入力の表示を含む、表地と；を有する、

キーボード。